



# 大阪の 社会福祉

2025年1月

836

社会福祉法 大阪市社会福祉協議会 <https://www.osaka-sishakyo.jp>



令和7年  
年頭あいさつ



社会福祉法人  
大阪市社会福祉協議会  
会長 永岡 正己

新年あけましておめでとうございませう。

皆さまにおかれましては、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は1月に能登半島地震が発生し、多くの方々が被災されました。仮設住宅での生活が始まった矢先、9月には豪雨による浸水被害という心を痛める出来事が重なりました。復興には生活基盤の再建と継続的な支援が欠かせません。本年1月17日には、阪神・淡路大震災から30年を迎えます。今改めて、祈りつつ災害時の苦難と復興への努力を思い、大阪においても災害への備えを着実に進めていかなければなりません。

災害発生時には、公的機関の迅速な救援とともに、住民同士の支え合いが重要となります。そしてそうした支え合いは、日頃の私たちの暮らしのなかで築かれる関係性によって確かなものとなります。

近年、社会や生活の構造的変化によって地域のつながりが希薄化し、社会的孤立や生きづらさを抱える人が増えています。

内外の社会情勢や物価高騰の影響も重なり、生活困難に陥る人も増加し、地域における生活問題は深刻化しています。誰もが地域で心豊かに暮らせるように、共に理解し、解決のための方法を考え、互いに支え合う関係を築いていきたいと願っています。

本会ではつながりをつくる「地域づくり」、暮らしを支える「相談支援」を基本目標とし、さらに「参加支援」を位置付けた第3期大阪府地域福祉活動推進計画を策定しました。本会は、身近な地域において、多様な主体による地域福祉活動を推進・支援するとともに、各区社協と連携し、計画に基づいて取組みを進め、「つながり・支え合うことができる福祉コミュニティ」をつくることをめざします。

地域福祉推進の中核的な団体である本会の役割を果たしながら、本年も関係者、皆さまと力を合わせて、「一人ひとりの人権が尊重されるやさしさ」とぬくもりのある福祉によるまちづくりを進め、地域共生社会の実現に向けて、各区社協とともに役員一同全力で取り組んでまいります。本年も皆さまのご支援・ご協力のほどどうぞよろしく申し上げます。

結びに、皆さま方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



人口減、労働力不足の日本で、これから外国人とどう付き合っていくかは大きな課題だ

▼先日、特別養護老人ホームで働く知人に電話したら、明らかにアクセントが日本人じゃない人が電話口に出た。老人ホームで働く外国人は介護職に決まっていると思いついでいたので、事務所の電話に外国人が出てきたことを不思議に思った▼私の心にも外国人労働者に偏見があるかもしれないが、不自然なアクセントながら、知人の不在を告げ、「電話があったことをメモして彼に伝えます」と、的確に対応してくれた▼外国人の介護者を養成する専門学校で講師をする別の知人は、授業の準備の大半がテキストにルビを振ることだと嘆いていたし、ある日突然、集団で学校に来なくなったという話も聞いたことがある。寮の管理者に誰もなかったがらないという専門学校もあった▼このように外国人と付き合うのは難しい。しかし、少子化に対する切り札もないし、労働力不足を解消するカードもない私たち。偏見を取り払って、共生する覚悟が必要だとつくづく思う▼日本語の電話にちゃんと対応できる外国人もいる。今年には共生を意識する1年にしたい。

(石)

# 特集 参加者にとっても活動者にとっても心の拠り所

近年、約3年にわたる新型コロナウイルス感染症の影響もあって、「孤独・孤立」「生活困窮」など、地域住民が抱える課題が複雑化・複合化し、さまざまな背景をもつ方々の問題が一層顕著となりつつあります。そうした方々を見つけ、問題がより深刻となる前に、つながりをつくり支援をしていくこと、また、つながり続けることができる居場所づくりが求められています。

今回は参加者にとっても活動者にとっても心の拠り所となっている2つの活動について紹介します。

## 鶴見区 美味しいコーヒーとともに どなたでも気軽に参加できるカフェ



どなたでも気軽に立ち寄れる

鶴見区社協では、毎月第3金曜日の午後2時～3時30分に、区社協にて「つるりっぷカフェ」を開催しています。今回は、11月15日に開催した時の様子を紹介します。

当日はあいにくの雨でしたが、チラシを見て初めて参加された方もいました。この活動は、鶴見区地域包括支援センター連絡会等と連携しながら、カフェボランティアグループ「モカブレンド」や傾聴ボランティアグループ「ひまわり」、福祉ネイル「つるみソニーサ」の方々が中心となって運営されています。認知症の方とその家族



▲コーヒーを飲みながらリラックス

が参加できる「認知症カフェ」としての機能もあり、どなたでも気軽に立ち寄れ、予約なしで飲み物代を1000円払って、ゆつくりと過ごすことができます。カフェとなっています。



住民にとっても 私たちにとっても居場所

カフェボランティアグループの活動者は、区社協が実施したカフェボランティア養成講座に参加し、喫茶店の元店主から直接ハンドドリップで美味しいコーヒーの淹れ方を教わった方たちです。また、参加者が楽しく過ごせるよう傾聴ボランティアが、参加者のもとへ行って話し相手となり、その人のこれまでの人生や今の過ごし方などを聞いたりしていました。ネイルを体験できるコーナーもあり、高齢になって、おしゃれをする機会が減った方にとって、おしゃべりしながら明るく笑顔になれるひと時となりました。

カフェボランティアグループ「モカブレンド」代表で、元喫茶店主の卯田裕子さんは「養成講座の講師をしていた時は、受



▲学んだカフェの淹れ方を実践し、みんなで確認

講者と一緒に活動することまで考えていなかったが、講座を重ねていくうちにみんなと活動したいという思いが強まった。この活動は地域の居場所でもあるが、活動している私たちにとっても居場所となっている」と話しました。

また、同団体副代表の末吉千尋さんは「地域で何かしたいと思ひ、認知症サポーター養成講座を受講したが、何からしていいか悩んでいた時に、この活動を知り、地域活動への一歩を踏み出した。これからも楽しく、しんどくなく、長く続けていきたい」と語りました。

参加者からは「1000円でこれだけ美味しいコーヒーが飲めてとてもよかった」「初めて来たが楽しかった。なかなか母と出かける機会がなかったの、このような場を知れてよかった」などの声がありました。



ふらっと誰でも来られるような居場所に向けて

区社協の塚下瞳第1層生活支援コーディネーターは「カフェボランティア養成講座を経て、いろいろな方々がメンバーになってくれているなかで、メンバーにとっても居場所となっていると聞いたことは嬉しかった。現在も地域の高齢者や家族等さまざまな方に来ていただいているが、生活のなかで生きづらさを抱えている人であっても、コミュニケーションを取りながら、通い続けられるような誰でもふらっと来られる居場所になるよう努めていきたい」と話しました。

## 他の活動者の声

- 活動することで自分も元気をもらえている
- 自分自身の経験を活かすことができ、ライフワークになっている
- ネイルを通して、自分の目で見れる楽しみのお手伝いやリラックスしてコミュニケーションできることにやりがいを感じる

## 高校生・大学生がつくる、小中学生の学びの場 (NPO法人Unity)

NPO法人Unityは、学習支援を通じたこどもの居場所団体で、現在鶴橋校と新大阪校の2拠点で無料学習塾を運営しています。鶴橋校が毎週日曜日、新大阪校が毎月第2土曜日に実施しており、各回小学生が5〜6人、中学生が2〜3人程度が参加しています。

活動を担うのは高校生・大学生のメンバー約160人で、参加する小中学生にとっても、活動する高校生・大学生にとっても居場所となっています。

今回は同法人理事長の目崎敦也さんにインタビューしました。

**活動を始めたきっかけ、取組みを教えてください。**

大学生時代、初めは別のNPO法人で、一つの区でこどもの学習支援をしていましたが、困っていることもその区以外にも多くいることから、大阪市、府、さらに広い範囲で、さまざまなこどもの居場所をつくっていくことが絶対必要だと当時から考えていました。そこを少しでも具現化するために大

学生の時に当団体を立ちあげ、令和5年に法人化しました。

鶴橋校はレンタルスペースを運営する企業と協力が一致し、協力を得て、場所を提供していただいています。新大阪校は、東三国にあることも食堂と提携し、実施しています。

**どのような学習スタイルで実施していますか。**

小学生クラスは勉強したいものを各自持参し、わからないことがあれば手を挙げて質問できるフリースタールの形式で実施しています。中学生コースは個別指導のため、参加前にアプリから予約を入れ、本人の特徴や相性を考えて、学生ボランティア講師とマッチングしています。こうすることで、本当に聞きたい質問ができ、学習の合間の雑談でも、心に秘めていることや、悩みを打ち明けてもらいやすくなりました。

**活動をするうえで大切にしていることはありますか。**

やはりコミュニケーション

すね。参加しているこどもたちとはもちろん、活動している学生ともたくさん会話をすることで、活動者と一緒にこどもたちを導いていくという団結力を芽生えさせています。

また、参加したこどもたちに勉強しなくても決して叱らないようにしています。「はよやりや」などと言わず、静かに見守って、こどもたちが自然に鉛筆を持った瞬間に「もしかして自分で時間見て、配分を決めてるの？すごいね」といった声かけで寄り添うようにしています。

**Unityはどのような居場所となっていますか。**

支援している側が、実は支援されている側にもなっていることがあります。参加者・活動者双方にとつての居場所となっており、それぞれに活動日を本当に楽しみにしています。

活動メンバーのなかには、過去に不登校などの当事者だった人もいますが、自分だから伝えられることを自身の強みとして活躍しています。いろいろな経験、さまざまな人との出会いから成長につながる、そして心の拠り所となる居場所ではないかなと思います。

**活動者を増やすための工夫はありますか。**

高校や大学の部活動・サークル等と提携し、継続的に来てもらう仕組みを作っているほか、「アクティボ」というサイトで募集しています。活動者は、学校に行きながらのため、毎回必ずではなく、無理なく参加しています。嬉しいことに、人の確保で困ったことはまだありません。

**現在力を入れていることや今後の展望について教えてください。**

小中学生が学習支援を受ける側で、それを支援するのが高校生と大学生。小中学生にとって年齢の近いお兄ちゃん・お姉ちゃんからよくしてもらった。ポジティブな体験が記憶に残り、自分たちが同じ年齢になった時に「自分もしてもらったし、ボランティアに行こうかな」という気持ちになって、次は支援する側に回るといふサイクルを作れるよう活動しています。目の前の課題が精一杯ですぐに気づけなくて、ふりかえった時にふと助けられていたことに気づく時があると思います。

今後に向けて、まだ出会えて

いない困っているこどもたちと出会うために、どのようにアプローチしていくかを試行錯誤しているところです。

これからどんな輪を広げていきたいなと思っていますが、Unityのメンバー全員が無給のボランティアということもあり、さらに企業や団体とタッグを組んでいくことが必要と考えています。まだまだ私たちは経験が少なく、わからないことでもありますので、成長していけるよう引き続き、行動して学んでいきたいと思っています。



▲Unityホームページ



▲理事長の目崎さん

## 特集

# 社協の災害支援 ―被災地支援活動と大阪での取り組み―

各地で台風や集中豪雨、地震などによる自然災害が毎年のように発生しています。大規模な自然災害が発生した際には、被災された方々が元の生活を一日でも早く取り戻せるよう、被災地の社協が「災害ボランティアセンター」を立ちあげ、被災者・被災地の力になりたいという思いを持ったボランティアを募って、「被災者中心」「地元主体」「協働」を基本に被災者に寄り添いながらさまざまな支援活動を展開します。今回は被災地での支援活動と、大阪での災害に備えた取組みを紹介します。

## 被災者の思いを一心に！⑦ 令和6年奥能登豪雨への支援

### 地震に続き 豪雨災害が発生

市社協では、令和6年1月1日に発生した能登半島地震の支援として、近畿ブロック社協の一員として、石川県志賀町（1～2月）、七尾市（2～6月）の災害ボランティアセンターに職員を派遣し、運営支援をおこなってきました。また、輪島市



へのボランティアバスを9月に3日間の行程で2回に分けて運行し、ボランティア51人、職員6人の計57人が現地へ赴き、ボランティア活動をおこないました。

その後、9月20日に「能登豪雨」が発生し、石川県内では、輪島市を含む複数のエリアで浸水や土砂災害、断水などの大きな被害が発生しました。被害状況としては、人的被害62人、住宅被害では2292棟（令和6年11月26日消防庁情報）となっています。

市社協では11月19日から25日まで、近畿ブロックの社協職員とともに輪島市災害たすけあいセンター（輪島市災害VC）

に職員1人を派遣し、電話等での被災者のニーズ受付やボランティア活動に向けた事前調整などを担いました。

近畿ブロックを含む県外社協からの職員派遣は、12月をめぐりに終了し、1月以降は地元中心の運営に移行する予定となっています。（過去の掲載は令和6年3・4・5・6・7・8月号を参照）

今回派遣された多田遥香地域福祉課係長によると、派遣期間中、同センターでは、ボランティア活動者数は平日が約100～150人、土日が約150～300人の規模となっており、1日あたりの活動件数は、平日が約15件、土日が約25～30件となっていました。新規ニーズは減少傾向にありましたが、降雪期を前に、多くの件数に対応することが迫られていた時期にあたっていました。



大阪市社会福祉協議会  
地域福祉課係長

多田 遥香

私は、輪島市社協で主にニーズ受付を担当しました。ボランティアの数が減っているという報道がされ、実際は一般ボランティアではなく、技術系ボランティアが不足しているということでしたが、被災された方からは「自分のところは後回しでいいので、他の人のところを回ってあげてほしい」と聞くことが多かったです。

報道があることで、全国各地からの多くのボランティアの参加につながる一方で、時には住民の方々の遠慮するような気持ちや依頼控えにつながることもあり、報道の影響の大きさを実感しました。

こうした状況のなかで、少しでも潜在化したニーズを拾いあげるには、各戸配付や訪問によるアウトリーチ、隣近所・家族親族間での声のかけ合いにつながるような情報発信が必要と感じました。

また、一度活動対応した後に継続して活動が必要と判断されたケースで、どうすれば円滑に再度調整できるかという課題がありました。依頼する住民にとって、日を置かずにも何度も続けてボランティアを受け入れることは疲れやストレスを感じるものです。災害による課題だけでなく、世帯状況やその他の生活課題にも寄り添う姿勢を忘れてはいけないと思いました。



▲家屋内での泥出し活動



▲災害VC2拠点のうちの1つ、輪島市マリンタウンポートパーク

# 災害ボランティアセンター 開設・運営訓練



**発災を想定して  
開設予定場所で  
実施**

東住吉区社協は、11月23日（土）午後1時30分から4時30分に、ヤンマーフィールド長居（長居第二陸上競技場）で、災害ボランティアセンター（以下、災害VC）開設・運営訓練を実施し、区民や学生、従事した職員など94人が参加しました。

きるようになり、昨年度に引き続き開設予定場所での訓練となりました。

今回もアドバイザーとして、被災地での災害ボランティア活動経験がある中村伸一郎さんを招き、訓練で気づいた点や参加者からの質問等に、実際の現地でのように対応しているかのコメントをいただきました。



▲アドバイザーの中村さん

## 災害VCツアー後に 開設・運営訓練

はじめに災害VCを知ってもらうため、2グループに分かれてツアーを実施しました。受付班やオリエンテーション班（活動にあたっての注意点等確認）、マッチング班などを回り、各班それぞれの役割・機能についての説明を受け、質問を通して学ぶ機会となりました。ツアー終了後、災害VC開設・運営訓練が、被害想定とし



▲約60の方が参加されました

て、11月16日（土）午前10時10分にマグニチュード8・0、震度6弱の地震規模が発生し、浸水が0・5〜1・0メートルという設定のもと、参加者側と運営者側に分かれて実施されました。

参加者側は、ボランティアがたどる実際の流れを体験できるように、まずは二次元コードから受付し、続いて運営スタッフからオリエンテーションの説明を受け、模擬的に設定したニーズとして、「土嚢袋の運搬」「緊急入所施設への送迎」「避難所での炊き出し」「仮設住宅でのリフレッシュ」などが示されました。こうしたニーズとボラン



▲模擬活動（個人宅での泥出し、避難所での炊き出し、マンションの方へ給水所から水の運搬など）

## 気づきから 次のステップへ

運営側には、区社協職員と、学生や登録ボランティアも加わり、協働しての実施となりました。

ボランティアをマッチングするにあたり、案件ごとに手上げ方式でボランティアを募り、即席のグループを編成し、そのなかでリーダーを決めました。

活動に来るボランティアと初対面のことが多いです。一日で終わらなければ、日々違う人が来ることもあり、ボランティアは無給ということからも、被災者の方は『ノー』と云えない時があります。被災地支援に行く時は、被災者側に立って、何を求めているか、どう思うかなどを考えてほしい」というコメントがありました。

グループ単位でニーズに対応し、活動報告をした後、全体でふりかえりがおこなわれました。「グループは、その日に初めて会った方とチームを組むこともあるため、声をかけ合いながら、協力することが大切」「運営側で入ったが、うまく伝えることが難しかった。シナリオをただ読むだけでなく、イメージを持ってもらえるよう、話すことが大事と実感した」などの声がありました。

アドバイザーを務めた中村さんからは「災害ボランティア活動では、被災者側から見ると、

### 全体共有で出された意見（一部）

- マンションの3階に住む方から給水車まで行けないため水を届けてほしいというニーズであったが、先に給水車に行ってしまった。まずは、依頼者のもとへ行き、どのくらいの量があるかなどの確認が必要だと学んだ
- 今日は訓練だったため、ゆっくりだったが、実際の現場では焦りもあるかと思う。そのようななかでも、大事な点を伝え忘れないようにしないといけないと感じた
- 活動場所では、現場判断を求められることがあるため、経験を重ねることが大切

# 令和7年 元旦

## 社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会

会長 永岡 正己

副会長 清水 弘 / 多田 龍弘 / 小嶋 憲子 / 前田 葉子



あけまして  
おめでとう  
ございます

社会福祉法人

大阪市北区社会福祉協議会

会長 小玉 始

社会福祉法人

大阪市福島区社会福祉協議会

会長 小西 克彦

社会福祉法人

大阪市中央区社会福祉協議会

会長 浦野 皖次

社会福祉法人

大阪市港区社会福祉協議会

会長 上田 哲夫

社会福祉法人

大阪市天王寺区社会福祉協議会

会長 一本松三雪

社会福祉法人

大阪市西淀川区社会福祉協議会

会長 大垣 純一

社会福祉法人

大阪市東淀川区社会福祉協議会

会長 吉田 正則

社会福祉法人

大阪市生野区社会福祉協議会

会長 多田 龍弘

社会福祉法人

大阪市城東区社会福祉協議会

会長 高木 正博

社会福祉法人

大阪市阿倍野区社会福祉協議会

会長 永岡 正己

社会福祉法人

大阪市住吉区社会福祉協議会

会長 山下 保一

社会福祉法人

大阪市平野区社会福祉協議会

会長 林 幸男

社会福祉法人

大阪市都島区社会福祉協議会

会長 前田 起平

社会福祉法人

大阪市此花区社会福祉協議会

会長 岩井 政人

社会福祉法人

大阪市西区社会福祉協議会

会長 笹倉 和忠

社会福祉法人

大阪市大正区社会福祉協議会

会長 川上 満

社会福祉法人

大阪市浪速区社会福祉協議会

会長 北口 武司

社会福祉法人

大阪市淀川区社会福祉協議会

会長 三田 和夫

社会福祉法人

大阪市東成区社会福祉協議会

会長 清水 弘

社会福祉法人

大阪市旭区社会福祉協議会

会長 宮本 正路

社会福祉法人

大阪市鶴見区社会福祉協議会

会長 中田 俊二

社会福祉法人

大阪市住之江区社会福祉協議会

会長 中野紀久雄

社会福祉法人

大阪市東住吉区社会福祉協議会

会長 川本 公夫

社会福祉法人

大阪市西成区社会福祉協議会

会長 越村 市二

### 支えあう 住みよい社会 地域から 大阪市民生委員児童委員協議会

会長 小嶋 憲子  
副会長 桑野 太一郎  
副会長 浦野 英男  
副会長 山本 文雄

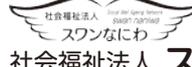
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  
電話 6765-5609 FAX 6765-5603  
<https://osakashi-minjikyo.jp>

### 一般財団法人 大阪市身体障害者団体協議会

会長 手嶋 勇一  
副会長 川越 利信  
副会長 廣田 しづえ  
副会長 山梨 徳治

〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
電話 6765-5636 FAX 6765-7407  
<http://shishinkyoo.o.oo7.jp>

<p align="center"><b>大阪市社会事業施設協議会</b></p> <p>会長 川端 均 (大阪市生活保護施設連盟)  副会長 岡本 佳久 (大阪市児童福祉施設連盟)  副会長 近藤 遼 (大阪市保育連合会)  副会長 新田 正尚 (大阪市老人福祉施設連盟)  副会長 加藤 久美 (大阪市地域福祉施設協議会)  副会長 山内 泰典 (大阪市障害児・者施設連絡協議会)</p> <p>【事務局】〒543-0021  大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内  電話 6765-5606 FAX 6765-5607</p>	<p>公益社団法人  <b>大阪市ひとり親家庭福祉連合会</b></p> <p>会長 北 玲子  〒531-0071  大阪市北区中津1-4-10  大阪市立愛光会館内  電話 6371-7146 FAX 6371-6722  <a href="https://www.hitoren-osaka.org">https://www.hitoren-osaka.org</a></p>	
<p> 社会福祉法人  <b>大阪自彊館</b></p> <p>理事長 川端 均</p> <p>〒557-0014  大阪市西成区天下茶屋1-3-17  電話 6659-8181 FAX 6652-2218  <a href="http://www.ojk.or.jp">http://www.ojk.or.jp</a></p>	<p>社会福祉法人 <b>白寿会</b></p> <p>理事長 新田 正尚</p> <p>〒557-0063  大阪市西成区南津守7丁目12番32号  電話 6651-2210  FAX 6651-6060  <a href="https://www.hakujuen.or.jp">https://www.hakujuen.or.jp</a></p>	<p>社会福祉法人 <b>育徳園</b></p> <p>理事長 早川 誠次</p> <p>〒545-0021  大阪市阿倍野区阪南町5-12-5  電話・FAX 6655-1718</p>
<p>一般社団法人  <b>大阪市私立保育連盟</b></p> <p>会長 近藤 遼  <small>つし  会員一同</small></p> <p>〒543-0021  大阪市天王寺区東高津町12-10  大阪市立社会福祉センター内  電話 6761-1171  <a href="http://o-shihoren.or.jp/">http://o-shihoren.or.jp/</a></p>	<p>赤い羽根共同募金   社会福祉法人  <b>大阪府共同募金会</b></p> <p>会長 多田 龍弘</p> <p>〒542-0065  大阪市中央区中寺1-1-54  大阪社会福祉指導センター 2階  電話 6762-8717 FAX 6762-8718  <a href="http://www.akaihane-osaka.or.jp">http://www.akaihane-osaka.or.jp</a></p>	<p>社会福祉法人  <b>大阪府社会福祉協議会</b></p> <p>会長 井手之上 優  副会長 大西 豊美  副会長 花野 淳一  副会長 川西 利則  常務理事 森垣 学</p> <p>〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54  電話 6762-9471 FAX 6764-5374  <a href="http://www.osakafusyakyu.or.jp">http://www.osakafusyakyu.or.jp</a></p>
<p>特定非営利活動法人  <b>大阪市地域福祉施設協議会</b></p> <p>会長 加藤 久美  <small>会員一同</small></p> <p>〒557-0004 西成区萩之茶屋2-9-2  わかさ保育園内  電話 6633-2965 FAX 6633-2970</p>	<p>一般社団法人  <b>大阪市老人福祉施設連盟</b></p> <p>代表理事 仲谷 善弘</p> <p>〒543-0021  大阪市天王寺区東高津町12-10  大阪市立社会福祉センター内  電話 6765-3611 FAX 6765-3612  <a href="https://sirouren.jp">https://sirouren.jp</a></p>	<p>一般社団法人  <b>大阪市児童福祉施設連盟</b></p> <p>会長 岡本 佳久</p> <p>児童養護施設 母子生活支援施設  児童自立支援施設 乳児院  児童心理治療施設 福祉型障害児入所施設  児童発達支援センター</p> <p>【事務局】 社会福祉法人 大念仏寺社会事業団  〒547-0045 平野区平野上町1-7-3  電話 6791-5410 FAX 6791-7774</p>
<p>障がいのある人が安心して心豊かにすごせるように  社会福祉法人  <b>大阪市手をつなぐ育成会</b> </p> <p>理事長 長谷川 美智代  役員・会員一同</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10  大阪市立社会福祉センター内  電話 6765-5621 FAX 6765-5623</p>	<p><b>大阪市障害児・者施設連絡協議会</b></p> <p>会長 山内 泰典  <small>会員一同</small></p> <p>〒533-0014 大阪市東淀川区豊新1-3-3  あすわ〜く内  電話 080-4760-8215 FAX 06-6815-0255  <a href="http://www.ossk.org">http://www.ossk.org</a></p>	<p>みおつくしクラブ大阪 (愛称)  一般社団法人  <b>大阪市老人クラブ連合会</b></p> <p>理事長 野口 一郎</p> <p>〒543-0021  大阪市天王寺区東高津町12-10  大阪市立社会福祉センター 3階  電話 4304-8555 FAX 4304-8557</p>
<p> 社会福祉法人  <b>都島友の会</b></p> <p>理事長 渡久地 歌子</p> <p>〒534-0021  大阪市都島区都島本通3-4-3  電話 6921-0321 FAX 6924-2055  <a href="https://www.miyakojima.or.jp">https://www.miyakojima.or.jp</a></p>	<p> 社会福祉法人 <b>大阪市障害者福祉・スポーツ協会</b></p> <p>理事長 石田 易司</p> <p>〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12番10号 電話 06-6767-9981</p> <p>【運営事業所一覧】  大阪市長居障がい者スポーツセンター 大阪市舞洲障がい者スポーツセンター  大阪市更生療育センター ワークセンター中津 ワークセンター中授 ワークセンター千里  大阪市立此花作業指導所 ワークセンター粉浜 中津サテライトオフィス 大阪市立早川福祉会館  サテライト・オフィス平野 大阪市障がい者相談支援研修センター 大阪市職業指導センター  大阪市職業リハビリテーションセンター 大阪市障がい者就業・生活支援センター  大阪市発達障がい者支援センター【エルムおおさか】</p>	

<p><b>社会福祉法人 一隅苑</b></p> <p>理事長 和田 偉夫</p> <p>我孫子地域在宅サービスステーション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイサービスセンター</li> <li>・ホームヘルプセンター</li> <li>・ケアプランセンター</li> <li>・総合相談窓口(ランチ)</li> </ul> <p>〒558-0013 大阪市住吉区我孫子東1-4-37 電話 4700-1000 FAX 4700-1009</p>	<p><b>社会福祉法人 今川学園</b></p> <p>理事長 魚住 誠一</p> <p>保育所・隣保館・子どもの家・ キンダーハイム・大和川園・今林の里・ ふれあいホーム・ハーモニー・ ワークセンターいまがわ</p> <p>〒546-0003 大阪市東住吉区今川3-5-8 電話 6713-6106</p>	<p><b>社会福祉法人 海の子学園</b></p> <p>理事長 間口 敦生</p> <p>児童養護施設 入舟寮 児童養護施設 池島寮 病後児保育室 げんきっこホーム 共同生活援助 スマイル日一無</p> <p>〒552-0015 港区池島3-7-18 電話 6571-1000 FAX 6573-9102</p>
<p> <b>社会福祉法人 みなと寮</b></p> <p>理事長 大西 豊美</p> <p>〒586-0052 河内長野市河合寺423番1 電話 0721-62-3700 FAX 0721-62-3711 <a href="http://www.minatoryo.or.jp/">http://www.minatoryo.or.jp/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 大阪重症心身障害児者を 支える会</b></p> <p>理事長 小原 英輔</p> <p>〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町2-23-11 電話 6622-3759 FAX 6622-3769 E-mail center@sasaeru.or.jp</p>	<p> <b>社会福祉法人 大阪福祉事業財団</b></p> <p>理事長 茨木 範宏 常務理事 山本 政幸 常務理事 勝原 祐子 事務局長 桑原 一章</p> <p>〒536-0001 大阪市城東区古市1-7-8 電話 6931-0098 FAX 6933-1699 mail:since1948@zaidanosaka.or.jp <a href="https://zaidanosaka.or.jp/">https://zaidanosaka.or.jp/</a></p>
<p><b>社会福祉法人 柿の木福祉の園</b></p> <p>理事長 宮川 友理子</p> <p>長居保育園 長居保育園乳児センター 長居子どもの家 長居西地域在宅サービスステーション ながいの里 居宅介護支援事業所 ながいの里</p> <p>〒558-0004 大阪市住吉区長居東4-11-16 電話 6691-3669 FAX 6691-8292 <a href="http://www.kakinoki.or.jp">http://www.kakinoki.or.jp</a></p>	<p><b>社会福祉法人 久栄会</b></p> <p>理事長 岩崎 久仁子</p> <p>〒544-0013 大阪市生野区巽中3-14-3 電話 6756-5200 FAX 6756-6688 <a href="http://www.minori-en.com/">http://www.minori-en.com/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 きれ福社会</b></p> <p>理事長 大久保 孝</p> <p>障がい福祉サービス事業 就労継続支援B型事業所 ユーアンドアイ 居宅介護・重度訪問介護 サポートわか 共同生活援助 スマイルホーム</p> <p>〒547-0025 平野区瓜破西1-8-45 電話 6799-5112 FAX 6799-5113</p>
<p><b>社会福祉法人 高津学園</b></p> <p>理事長 田尻 達朗</p> <p>児童養護施設 高津学園 児童養護施設 報恩寮 障害児入所施設 法然寮 障害者支援施設 知恩寮(以上、天王寺区) 児童養護施設 信太学園(和泉市)</p> <p>〒543-0017 天王寺区城南寺町1番10号 電話 6761-1663 FAX 6768-1653</p>	<p><b>社会福祉法人 治栄会</b></p> <p>理事長 大森 秀之</p> <p>〒534-0027 大阪市都島区中野町5-10-70 電話 4253-8055 FAX 4253-8066 <a href="https://www.jieikai.or.jp/">https://www.jieikai.or.jp/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 四恩学園</b></p> <p>理事長 中西 裕</p> <p>●乳児院・児童養護施設 ●里親支援機関 結い ●保育園(3園)・子育て支援・子どもの家(学童) ●ふれ愛の館しおん デイサービス・ホームヘルプ ●地域密着型特別養護老人ホーム 居宅介護支援事業所・住吉区東地域包括支援センター</p> <p>〒558-0011 大阪市住吉区荻田4-3-9 電話 6607-2220 FAX 6696-5347 <a href="http://shiongakuen.or.jp">http://shiongakuen.or.jp</a></p>
<p> <b>社会福祉法人 四天王寺福祉事業団</b></p> <p>理事長 南谷 恵敬 常務理事 塚原 昭人 常務理事 廣瀬 善重</p> <p>〒543-0051 大阪市天王寺区四天王寺1-11-18 電話 6771-7971 FAX 6771-8961</p>	<p><b>社会福祉法人 晋栄福社会</b></p> <p>理事長 濱田 和則</p> <p>〈鶴見区〉茨田大宮ちどり 施設長 柿元 裕二 〈都島区〉東野田ちどり保育園 園長 江川永里子 〈城東区〉城東ちどり保育園 園長 山本 信吾 〈東成区〉大阪市立東中本保育所 所長 高田 幸代 〈大正区〉大阪市立北恩加島保育所 所長 石坂 倫子 〈北区〉中之島ちどり保育園 園長 小林 操 〈中央区〉御堂筋本町ちどり保育園 園長 高平 友子 〈福島区〉新福島ちどり保育園 園長 松本 行弘</p>	<p><b>社会福祉法人 しんもり福社会</b></p> <p>理事長 松野 五郎</p> <p>平和の子保育園 平和の子子どもの家 子育て支援センター 大阪市立両国保育所 〒535-0022 大阪市旭区新森7-1-5 電話 06-6954-0524 FAX 06-6954-1961 <a href="http://www.shinmori-fukushikai.or.jp">http://www.shinmori-fukushikai.or.jp</a></p>
<p><b>社会福祉法人 水仙福社会</b></p> <p>理事長 松村 寛</p> <p>〒533-0004 大阪市東淀川区小松1-13-21 電話 6328-3786 FAX 6328-3788 E-mail honbu@suisen.or.jp <a href="http://www.suisen.or.jp/">http://www.suisen.or.jp/</a></p>	<p> <b>社会福祉法人 スワンなにわ</b></p> <p>理事長 樋口 恵光</p> <p>居宅介護支援事業所 認知症対応型デイサービス デイサービス 就労継続支援B型事業所 認知症対応型グループホーム 浪速区障がい者基幹相談支援センター 児童デイサービス デイケアセンター夢の希</p> <p>〒556-0026 大阪市浪速区浪速西2-11-6 電話 6562-0456 <a href="http://care-net.biz/27/swan/">http://care-net.biz/27/swan/</a></p>	<p><b>社会福祉法人 聖家族の家</b></p> <p>理事長 上利 久芳</p> <p>児童養護施設 聖家族の家 乳児院 聖母託児園 児童心理治療施設 児童院 テルミエ診療所</p> <p>〒546-0033 東住吉区南田辺4-5-2 電話 6699-7221 FAX 6699-7243 E-mail holyfamily@luck.ocn.ne.jp</p>

<p>社会福祉法人 <b>大念仏寺社会事業団</b></p> <p>理事長 杉田 善久 大念仏乳児院、ボ・ドーム大念仏、ボ・ドーム、子どもの家「童夢」、いちよう保育園、いちようベビーセンター、ひらのドリーム園、南生野いちよう保育園、ドレミ広場、タイガー・ダイヤモンドルーム 〒547-0045 大阪市平野区平野上町1-7-3 電話 6791-5410</p>	<p> 社会福祉法人 <b>尚 和 会</b></p> <p>理事長 張 はる江 なのはなこども園・なのはな子育てひろば・なのはな病児病後児保育室 〒534-0023 大阪市都島区都島南通1-9-1 電話 6921-6818 FAX 6921-6819 <a href="http://nanohana-hoiku.or.jp">http://nanohana-hoiku.or.jp</a></p>	<p> 社会福祉法人 <b>なみはや福祉会</b></p> <p>理事長 竹本 榮 〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町12-10 大阪市立社会福祉センター内 電話 6761-3010 FAX 6761-8922 <a href="http://www.namihaya.or.jp">http://www.namihaya.or.jp</a></p>
---	---	--

社会福祉法人  
**日本ライトハウス**

理事長 橋本 照夫  
〒538-0042  
大阪市鶴見区今津中2-4-37  
電話 6961-5521 FAX 6968-2059  
<http://www.lighthouse.or.jp/>

社会福祉法人 **博愛社**

理事長 畑野 研太郎  
〒532-0028  
大阪市淀川区十三元今里3-1-72  
電話 6301-0367 FAX 6301-5347  
<https://www.hakuaisha-welfare.net/>

やさしさと思いやりのある介護  
社会福祉法人  
**ビーナス福祉会**

理事長 田村 文子  
〒551-0003  
大阪市大正区千島1-23-26  
電話 6553-4800 FAX 6553-7771  
<http://www.venushome.jp/>

 社会福祉法人  
**みおつくし福祉会**

理事長 田丸 卓嗣  
〒543-0021  
大阪市天王寺区東高津町12-10  
大阪市立社会福祉センター内  
電話 6765-5611 FAX 6765-5614  
<https://www.miotsukushi.or.jp/>

公益社団法人  
**大阪社会福祉士会**

会長 前川 阿紀子  
副会長 山田 美代子  
副会長 氏家 幹夫  
副会長 小名 京子  
〒542-0012 大阪市中央区谷町7-4-15  
大阪府社会福祉会館内  
電話 4304-2772 FAX 4304-2773  
<http://www.oacsw.or.jp>

まかせてください その仕事！  
公益社団法人  
**大阪市シルバー人材センター**

本 部 城東区関目3-1-14 電話 6931-0221  
南部支部 天王寺区東高津町12-10 電話 6765-6116  
西部支部 西区立売堀4-10-18 電話 6543-7011  
北部支部 北区池田町1-50 電話 6882-3830  
訪問介護事業所 城東区関目3-1-14 電話 6180-1010  
(本部事務所併設)  
<http://www.osakasc.or.jp>

 あふれる笑顔  
社会福祉法人 **優心会**

理事長 垣谷 隆太  
・介護老人福祉施設 ・通所介護  
・短期入所生活介護 ・居宅介護支援事業  
〒547-0014 大阪市平野区長吉川辺3丁目2番3号  
電話 06-6700-8000 FAX 06-6700-8400  
<https://yuushinkai.or.jp>

 社会福祉法人  
**路交館**

理事長 尾 埜 健二  
〒533-0023  
大阪市東淀川区東淡路2-7-5  
電話 6321-3955 FAX 6325-6320  
<https://www.rokoukan.or.jp/>

人に寄り添う福祉を学ぶ  
**関西福祉科学大学**  
社会福祉学部  
福科大 福祉  
大阪府柏原市旭ヶ丘3-11-1 ☎072-978-0088

学校法人 田島学園 (奈良東病院グループ)  
**近畿社会福祉専門学校**  
厚生労働大臣指定 (介護福祉士養成校)

理事長 鉄村 俊夫  
学校長 榎 豪司  
〒534-0025 大阪市都島区片町1-5-13  
大手前センチュリービル3階  
電話 6136-1117 FAX 6136-1115  
<http://www.kinki-swc.ac.jp>

福祉と共に 50年  
株式会社  
**島本保険事務所**

代表取締役 城谷 雅也  
〒541-0056  
大阪市中央区久太郎町4丁目1番3号  
大阪センタービル2階  
電話 06-6252-4520 FAX 06-6245-4686  
<https://www.shj.co.jp/>

記念誌、広報紙の編集・発行を請け負います  
**一般社団法人 檸檬新報舎**

代表理事・編集長 平田 篤州  
理事・東京支部長 末永 良一  
理事・編集委員 水流添 綾  
理事・編集委員 横須賀 文  
〒541-0046 大阪市中央区平野町2-2-9 ビル皿井701  
TEL 090-7765-1812

60th 伸びゆくいのち  
人が活きることを支え、共に活きる。85年のあゆみ

麒麟が如く  
人が活きることを支え、共に活きる。85年のあゆみ

# 協働によりそれぞれの強みを活かした福祉教育を実施

住之江区



## 地域・関係機関と協働

住之江区社協は、新北島地域の活動者や特定非営利活動法人自立生活夢宙センター（以下、夢宙センター）と協働して、11月26日午前に新北島小学校の4年生を対象に福祉教育として、ボッチャを実施しました。

区社協が小学校教頭会で福祉教育の啓発をおこなった後、学校側からボッチャを実施したいとの声があり、同校で新たに実施することとなりました。

区社協では、地域活動者や夢宙センター以外にも、日本ライトハウスや区内の社会福祉施設等を通じて、当事者や専門職と協働して、地域・学校・企業などを対象に、講座や当事者による講話、体験・交流できるプログラムを実施しています。



▲区社協・地域活動者・夢宙センターが協働して実施



▲地域活動者からボッチャについて説明

## 役割分担して実施

今回は、パラリンピックの競技でもあるボッチャを通して、地域活動者や当事者と交流しながら、福祉について学ぶ機会としました。まずは福祉やパラリンピックについて区社協職員が説明した後、地

域活動者からボッチャのルールを説明しました。当事者が小学生のチームに入り、クラスごとに体験した後、実際のルールに沿った試合もおこない、ともに交流し、最後はふりかえりをして終了しました。



▲地域活動者や当事者の方と小学生がボッチャで交流

## 取組みを通じた関わりの変化

福祉教育を通して交流したことで、初めは地域活動者や当事者とあまり話せていなかった児童が多くいましたが、途中からは「どうやったら上手く投げられ

るん？」「どこ投げたら勝てる？」「負けそう、○○さん、頼みます」「○○さん、流れもってきてー」など声をかける様子が見られました。

それに対して、地域活動者や当事者から「ちやうちやう、体をこつちに向けて、あそこらへんに投げてみ」「ええとこ投げてるやん！うまいやん、ナイス！」「（投球したが、外してしまい）あー、ごめんねー」などのやり取りがあり、ボッチャを通じて自然と関わるようになりました。

## 地域活動者・当事者の声

- 普段のこども食堂などで会ったことがあるこどももいたが、他のこどもたちとも触れ合える機会となり、楽しかった。
- 出会えたこどもたちがこども食堂や地域の活動に参加してくれたら、嬉しい。
- 障がいがあっても、どのようにしたら一緒に楽しめるか考えるきっかけにしてほしい。
- こどもたちと顔を合わせることで、地域で会った時に声をかけてくれる、それが嬉しくもある。

## 講演で学ぼう！ よくわかる成年後見講座

大阪市成年後見支援センター（運営：市社協）は、「講演で学ぼう！よくわかる成年後見講座」を11月16日、城東スギタクエストホールで、城東区社協や市民後見人連絡協議会との共催で開催し、一般市民の方や大阪市成年後見人バンク登録者、そのOBなど、120人が参加しました。

この講演会については、よりたくさんの方に成年後見制度と家庭裁判所から選任され、無報酬で後見業務に携わっている市民後見人の活動について知ってもらうことを目的として、開催しました。

第1部では成年後見制度について、講師神田織音おほねさんによる講演で楽しく学びました。事例をもとに作られた3話の演目では、認知症の老姉妹や親亡き後の子の支援について分かりやすく知ることができ、より身近なものとして成年後見制度の理解を深めました。

第2部では現在活動中の市民後見人である出崎節子さんが登壇し、大阪弁護士会の砂川彦彦ひこひこ氏の進行で日々実践している市民後見活動を報告しました。ご本人との面会を通して、



▲講演でわかりやすく成年後見制度を説明

ご本人の好きなDVDについて話をしたり、こづかい帳をパソコンで入力することを提案し、一緒に取り組むことでご本人の欲しいものや、やりたいことを知ったり、安心して話してもらえるようにさまざまな工夫をするなど、専門職後見人ではできない、きめ細やかなコミュニケーションと丁寧な活動を続けるなかでご本人の希望する暮らしを支援者と相談しながら実現しているという内容でした。またご本人との信頼関係を築くことが市民後見人と支援との関係を深め、より良いチーム支援につながっていくことが伝わる報告でした。

市社協では、引き続き誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりのために、市民後見人活動を支援し、推進していきます。



▲トークライブでは、市民後見人として活動している方から日々実践している活動を聞き、理解が深まりました

### 参加者の声

- 第1部の講演は制度の必要性を感じた事例でした。大変わかりやすい内容であり、参考になりました。ありがとうございました
- 大変勉強になりました。自分自身の将来に不安を感じて受講しましたが、わかりやすくてさらに興味をもつようになりました。また、市民後見人についてもとても理解が深まりました
- 市民後見人活動を初めて知った。活動はすごい
- 市民後見人活動トークはとても積極的な内容でわかりやすく良かったです

## 風をよむ

### 第10回国際社会開発アジア太平洋コンソーシアム会議

大阪公立大学大学院生活科学研究科 教授 鶴川重和

第10回国際社会開発アジア太平洋コンソーシアム（ICS DAP）会議が、10月24日、フィリピンで開催された。この会議を主催した国際社会開発コンソーシアム（ICSD）は、社会開発分野における学術的リーダーとして、国際的なネットワークを活用しながら社会課題の解決に取り組むNGOである。ICS DAPはその地域支部の一つで、アジア太平洋地域を中心に、ヨーロッパやアフリカの支部とも連携しながら包括的な社会開発を推進している。

こうした場合、背景のもと、会議では、社会開発の促進と平和の構築に向けて、国家と国際機関が協調して取り組む必要性が強調された。国家に対しては国連の諸条約・宣言の順守と実施、少数民族や先住民の権利の尊重、国際人道法の順守を求め、国連に対しては、紛争への介入と国連総会の改革、さらに2025年11月に開催予定の「第2回世界社会開発サミット」において、これらの課題に対応する行動計画の策定を要請することが採択された。

本会議では、社会が直面する危機として、不平等の拡大、紛争の増加、気候変動の影響が議論された。具体的には、全世界人口の半数が所有する富を合計しても、世界の全体の富の1%未満にしかならないという現状や、ジェンダー平等は依然として多くの女性にとって達成されていないこと、紛争が暴力や人権侵害、強制移住を引き起こしていることが指摘され

浪速区

# 区内の子ども食堂同士が つながる



浪速区社協は、区内でこどもの居場所活動の立上げが増えていることもあり、活動者のネットワークづくりの必要性を検討していたなか、11月24日(日)の午後、「こどもしょくどう&音楽コンサート(第1部)」と、続けて「浪速区子どもの居場所活動者情報交換会(第2部)」を初めて開催しました。

区社協を会場に、第1部では、こども食堂(カレーを提供)の実施とともに、寄附を渡すだけでなく、子どもたちと一緒に音楽を楽しめるようにと、株式会社三菱UFJ銀行の社会貢献活動チーム(大阪営業本部の有志の社員で結成)によるバンド演奏と、「六甲ヴェルデ吹奏楽団」の吹奏楽演奏がありました。

第2部は、現在区社協とつながりがある区内9か所のこどもの居場所団体に呼びかけ、情報交換をしました。参加者は普



▲初めて情報交換会を開催



▲演奏終了後、三菱UFJ銀行から区社協へ寄附金が贈呈されました

## 令和6年度 地域福祉シンポジウム 地域福祉活動の担い手を広げる

**参加者募集!** **参加費無料!**

地域福祉活動は、地域住民のつながり・いきがいに重要な役割を果たしています。多くの地域・団体が、活動者の高齢化や減少に悩んでいます。そこで、本シンポジウムでは、さまざまな形で活動の担い手を広げることをめざして工夫を凝らし、展開している取組み事例を共有します。

**実践報告者**

- 「三世代が交流・活動するふれあい喫茶」  
西成区 弘治地域社会福祉協議会会長  
弘治地域ふれあい喫茶委員会委員長  
西成区社会福祉協議会 地域支援担当主事
- 「学生がボランティア活動で地域とつながる」  
株式会社御用聞き 大阪市エリア担当  
学生ボランティア

講師 摂南大学  
上野山 裕士 氏

元山 雅晴さん  
藤井 五十鈴さん  
橋口 風伍

小野 聖一さん  
廣岡 翼さん

上記のほか、社協としての被災地支援活動についても報告します。

**対象** テーマに関心のある市民、関係者

**会場定員** 150人 ※事前申込制・先着順

**申込み方法** 申込みフォーム等からお申込みください▶

**申込期日** 令和7年2月10日(月)

**問合せ先** 大阪市社会福祉協議会 地域福祉課  
TEL 06-6765-5606  
E-mail fukusi@osaka-sishakyo.jp

立ちどまらない保険。  
MS&AD 三井住友海上

## 三井住友海上の安心

# GK

火災・盗難・水災・地震・台風・火災・盗難・水災・地震・台風・火災・盗難・水災・地震・台風

www.ms-ins.com